

4 生徒の主体的活動に配慮した授業展開例

教科(科目)	日本史 A	単元名	第 1 章 歴史と生活
本時主題	「調べ学習」の発表 (5 時間目 / 5 時間配当)		
本時の目標	「調べ学習」の発表を通じて、友人の発表内容や方法に興味・関心をもつ。【関心・意欲・態度】 まとめ方や発表の方法について、より効果的な方法を考える。【技能・表現】		
指導のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・「調べ学習」におけるクラスメートの取組の概要を理解する。 5分	プリント「研究テーマ一覧」の配布 いくつかの作品について、教師のコメント紹介	友人の取組に興味・関心をもてるように紹介する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な発表方法を考える。 ・友人の発表に興味関心をもつ。 25分	グループ内での発表会 ・グループは「好きな子どうし」の 4～6 名。事前に作っておく。 ・司会者、発表順なども事前に決めておく。 ・発表内容（動機・内容・工夫した点）についても事前に指導して準備させておく。	プリントに感想や評価を記入。【技】 行動観察による指導 評価方法 プリントの事後提出で確認	
<ul style="list-style-type: none"> ・友人の発表に興味関心をもつと同時に、どこが優れているのか考察する。 40分	代表者によるクラス全体での発表 ・優秀な作品を提出した生徒に、事前に依頼しておく。 ・発表内容や方法について、事前に指導しておく。 ・聞く姿勢について指導する。	どこが優れているのか、自分の作品と比較。 評価方法 プリントの事後提出で確認	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品に対する自己評価を行う。 50分	自己評価 ・今回の「調べ学習」に関する自己評価を行う。評価の観点については、あらかじめ指定しておく。 ・単元（「歴史と生活」）全体についての感想をまとめさせる。	「問題発見力」「自己解決力」「自己表現力」の各項目について自己評価。【関】 評価方法 プリントの事後提出で確認	

【参考文献】

- ・『調べ学習 社会科の授業づくり 3 歴史上の人物を調べる授業』 北俊夫編著 国土社 1997
- ・『新学力観に立つ社会科授業の理論と方法』 北俊夫 明治図書 1995
- ・『「社会科の授業」はどう変わらなければならないか』 北俊夫 明治図書 1997
- ・『中学授業のネタ 歴史』 河原和之/馬場一博著 日本書籍 1996
- ・『「総合的な学習の時間」の理論と実践 情報編』 岡本敏雄編著 実教出版 2000

【資料編】

1 研究テーマ一覧

	研究テーマ		研究テーマ
1	山本五十六	39	ラーメンについて
2	苗字について	40	明智光秀
3	鵜飼	41	回転寿司の歴史
4	舞妓さんの歴史	42	高富大龍寺と「だるま」
5	日本代表のシンボルマーク 八咫烏	43	コンビニの歴史
6	駄菓子	44	鵜飼の歴史
7	坂本龍馬	45	昔の学校行事
8	衣服の変化と流行	46	徳川家康
9	日本の童謡	47	太平洋戦争はどのように起こったか
10	マクドナルド	48	日本の通貨単位はなぜ「円」？
11	チョコレートの歴史	49	コーラの歴史
12	髪型 流行の歴史	50	コンビニの歴史
13	円空	51	名古屋鉄道の車両
14	田中角栄	52	長良川の治水
15	イタスパ発祥の秘密	53	新撰組
16	中部地区限定食べ物のナゾ	54	西洋音楽が日本に来たとき
17	斎藤道三	55	結婚の歴史
18	かき氷の歴史	56	テレビの視聴率
19	日本の塩づくりの歴史	57	「鬼」について
20	手力雄神社の火祭り	58	割り箸の話
21	春慶塗	59	コンビニの歴史
22	古田織部	60	枕の秘密
23	テニスの歴史	61	「おじぎ」について
24	忍者について	62	バレンタインデー
25	アイスクリームの歴史	63	テーマパークの歴史
26	竹取物語の研究	64	松尾芭蕉
27	世界のバレンタインデー	65	日本人はなぜ浴衣を着るのか
28	日本で行われたスポーツの祭典	66	ハヤシライスを作ったのは早矢仕有的
29	チョコレートが日本に来るまで	67	バレンタインデー
30	日本の民族衣装	68	日本人の苗字
31	ゆかた	69	日本の昔話
32	方言の歴史	70	味噌の歴史
33	日本初の遊園地「浅草花やしき」	71	カラス
34	クリスマス	72	雨乞い「十六拍子」
35	ハヤシライス	73	お風呂と風呂敷
36	パンの歴史	74	オムライスの歴史
37	自動販売機の歴史	75	天ぷらの歴史
38	花火の歴史	76	たこ焼きの生い立ち

2 「自己評価シート」

<p>テーマを決めよう</p> <p>1、特に興味のある歴史上の人物 例) 坂本龍馬、宮本武蔵、ヤマトタケル</p> <p>2、「地元ネタ」 例) 地元ならではのディープな人物 —— 円空、杉原千畝、瀬古安太郎 地場産業の歴史 —— 岐阜ちょうちん、美濃和紙、各務原市の航空機産業 地元の祭り・伝統芸能 —— 各務原村国座の地歌舞伎、手力雄神社の火祭り</p> <p>3、じいちゃん、ばあちゃんからの聞き取り 例) 昔の遊び、戦時中の暮らし、伊勢湾台風</p> <p>4、「学校ネタ」 例) 昔の給食の献立、修学旅行の行き先、岐山高校の部活動の戦績</p> <p>5、日常生活に関すること 例) 衣食住 —— 「ちょんまげ」って何?、昔の人の食事、住宅の変遷 発明や開発 —— インスタントラーメンの歴史、松下幸之助の生涯 年中行事 —— ひなまつり、七夕、こいのぼり その他の疑問 —— 車はなぜ左側通行?、花咲かじじいの犬は「ポチ」「シロ」</p>	
<p>テーマの候補</p> <p>調べようと思った理由</p> <p>調べる方法</p>	<p>そのテーマについて何を調べたいか</p> <p>既に知っていること</p> <p>まとめ方の工夫</p>
<p>アドバイス</p>	
<p>自己評価シート</p> <p>問題発見力（調べがいのある面白いテーマであったか） —— 5・4・3・2・1</p> <p>自己解決力（調査の方法は適切であったか） —— 5・4・3・2・1</p> <p>自己解決力（調査の内容は満足のいくものであったか） —— 5・4・3・2・1</p> <p>自己表現力（調査結果を上手くまとめることができたか） —— 5・4・3・2・1</p> <p>自己評価（全体を通じての満足度） —— 5・4・3・2・1</p> <p style="text-align: right;">2年 組 番</p> <hr style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>	

【指導案の注釈】

単元の全体指導計画は以下に示すとおりである。本時は、単元の最終項目「5、自由テーマによる調べ学習」の第5時間目に相当する。

単元の全体指導計画

第1章 歴史と生活

単元の目標

作業的・体験的学習を導入し、多様な学習活動を工夫することにより、生徒の主体的な学習活動を促進し、課題を解決する能力を育成する。

各時間ごとの内容

1 交通・通信の発達（どん兵衛食べ比べ）＝問題発見力		2 時間配当	
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1	日本の東西の食文化の違い	二種類の「きつねどん兵衛」を試食して、東西の食文化の相違の歴史的背景を考察する。【関】	試食の感想を発表させる 東西の相違の背景について推理・発表させる。
2	背景にある歴史的な要因の推察 調査方法の理解	近世の商品流通と現代の事象について仮説を立てる。【技】 北前船の昆布交易、関東地回り経済圏を理解する。【知】	ノート点検
2 「歴史上の著名な人物」に関する調べ学習＝自己解決力、自己表現力		3 時間配当	
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1	インターネットの利用方法の理解 調査テーマの設定	インターネットの利用方法を理解する。【知】	行動観察による個別指導
2	調査	42人の中から選択し、テーマ設定。【思】 インターネットや文献で調査。【思】	行動観察による個別指導
3	レポートの作成	調査内容をのまとめる。【表】	行動観察による個別指導 レポート提出
3 地域社会の変化（糸貫町の富有柿栽培）＝問題発見力		2 時間配当	
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1	二種類の地図(明治22、平成9)の比較	富有柿の栽培に関してその栽培の開始に関する歴史的背景を考察する。【関】【思】	相違点を発表させる。
2	背景にある歴史的な要因の推察 調査方法の理解	統計表をグラフ化し、桑から柿へと変化した理由を推理する。【技】 昭和初期の社会状況について理解する。【知】	ノート点検 変化の理由の推察と発表 ノート点検
4 衣食住の変化（きびだんご）＝問題発見力		2 時間配当	
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1	きびだんご、ひえめしの調理、試食	調理実習を行い、雑穀食を体験し、それが食べられていた時代の人々の暮らしを考察する。【関】	行動観察による指導
2	背景にある歴史的な要因の推察 調査方法の理解	資料から、食生活の変化について考察する。【技】 近世・近代農民の生活を理解する。【知】	江戸時代～昭和初期の食生活の変化について発表 ノート点検
5 「自由テーマ」による調べ学習＝自己解決力、自己表現力		5 時間配当	
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1	調査テーマの設定	テーマ設定および調査計画の作成 【思】	行動観察による個別指導 レポート提出
2	調査およびレポートの作成	インターネットや文献、その他の方法による調査。【思】	行動観察による個別指導
4		調査内容をのまとめる。【関】	レポート提出
5	発表会	調査した内容を発表する。【技】	自己評価シート提出

「『新学力観に立つ日本史 A の授業実践 ―覚えのない日本史―』を实践して」

1 テーマ設定の理由

「日本史 A」と「日本史 B」の違いは何なのか？、と自問し続けて来た。実際の授業にあたっては「日本史 A」は「日本史 B」の内容を薄めたものに過ぎず、そのことにずっと違和感を感じ続けていた。

今回のカリキュラム改編において、大項目「(1)歴史と生活」が追加されたことによって、より一層「日本史 A」の性格が鮮明になったように思う。そこで、学習指導要領解説(作業的・体験的学習の導入、多様な学習活動の工夫、生徒の主体的な学習活動の促進、課題を解決する能力の育成)を具現化することで、「日本史 A」の授業展開をドラスティックに転換しようと考えた。

2 実践の内容と反省・今後の課題

- ・生徒が自ら課題を設定する力を「問題発見力」として位置づけた。具体的には、何について研究したいのか(研究テーマの設定)、なぜ研究したいのか(研究の動機や目的の明確化)、どのような視点から研究に取り組むのか(既に知っていること、もっと知りたいことの明確化)、どこでどのように調べるのか(研究計画の作成)などの項目である。「問題発見力」には、生徒の知的好奇心や探求意欲が密接に関わっていると考え、「(1)歴史と生活」において、三つの授業を実施した(授業指導案は別途掲載)。
- ・実際の授業展開においては、体験的学習や作業的学習を意識的に多用した。ただし、「体験」は必要であるが、「体験」そのものに価値があるのではなく、「体験」から何を導き出すか、が重要なポイントとなるであろう。昭和 22 年の学習指導要領における「問題解決学習」が、やがては「這い回る経験主義」と揶揄されて消滅していった二の轍を踏まないように頑張りたい。
- ・生徒が自ら課題を解決する力を「自己解決力」として位置づけた。「問題発見力」の授業展開の中で、様々な調査方法(図書館、博物館、現地での調査、インターネット、テレビ番組、メーカーへの問い合わせ、専門家の話等々)があることを具体的に生徒に提示した。また、統計を読み取ったり、地図にまとめたりすることも授業に意識的に取り入れた。
- ・調べた内容を、工夫してまとめる力を「自己表現力」として位置づけた。単純なペーパーレポートだけでなく、様々な表現方法があることを紹介したが、実際の生徒の活動においては反映されず残念であった。
- ・「調べ学習」に、生徒自身がどの程度満足できたかを自己評価させて、これを「自己評価力」として位置づけた。研究成果の良否だけでなく、自分が研究の過程を楽しむことができたかが生徒の意欲を高め、ひいては新たな「問題発見力」の醸成につながると考えた。